

# 味の素グループの環境取り組み



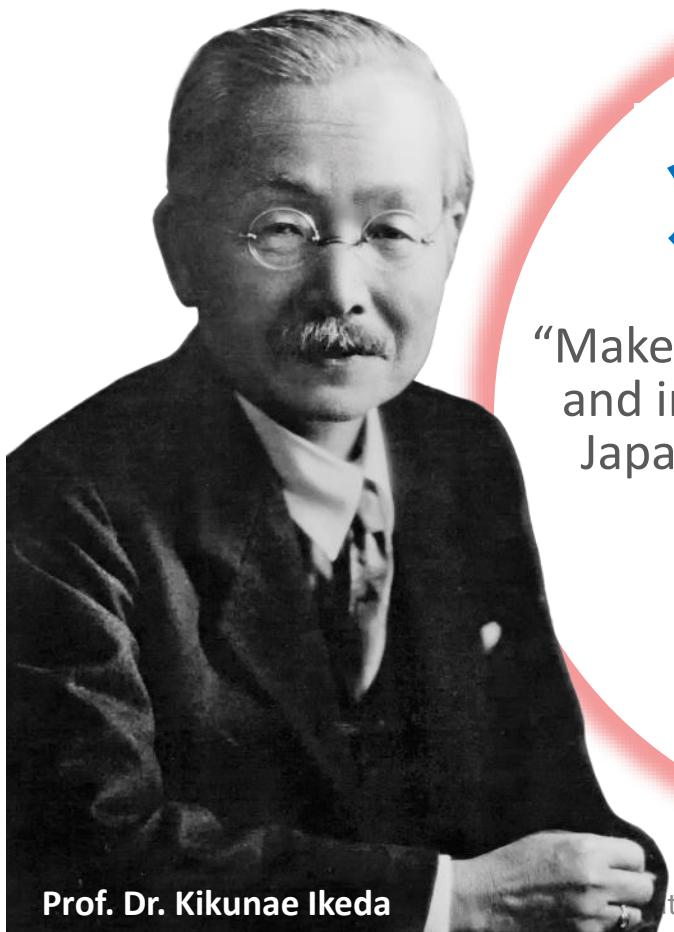
味の素(株)  
グローバルコミュニケーション部  
CSRグループ

長谷川 泰伸

2018年3月19日

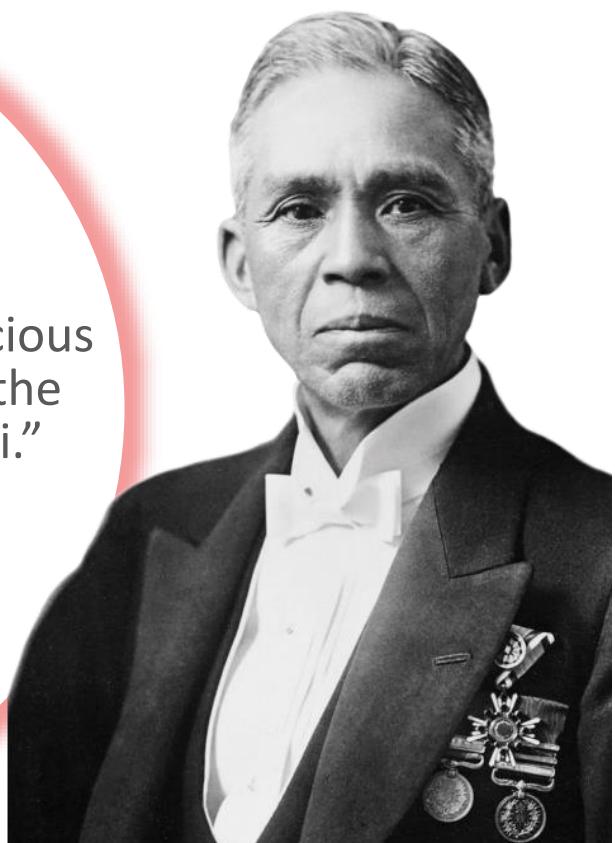
# 創業の志

# Eat Well, Live Well.



## 創業の志

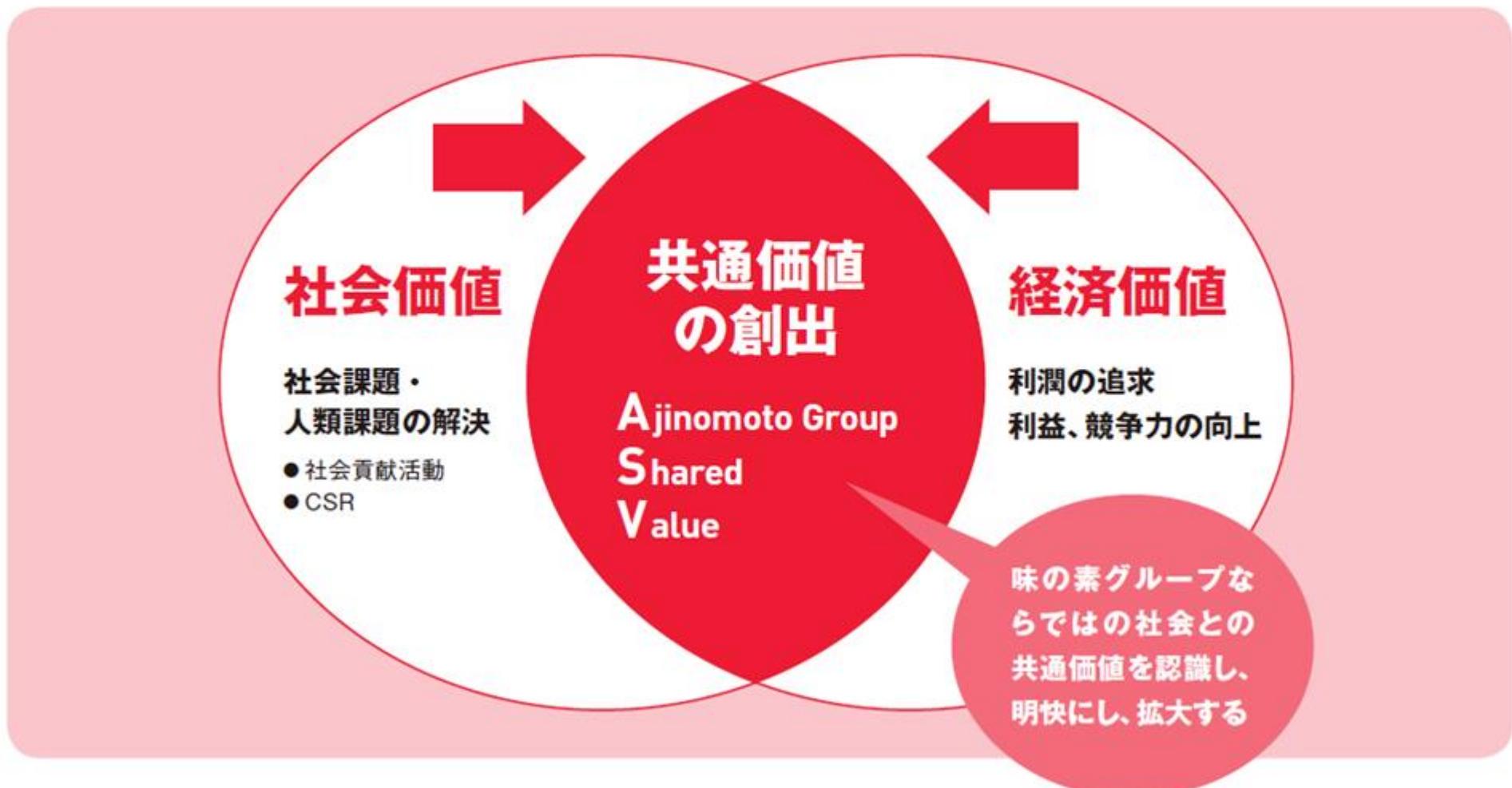
“Make a simple diet more delicious and improve the nutrition of the Japanese people with umami.”



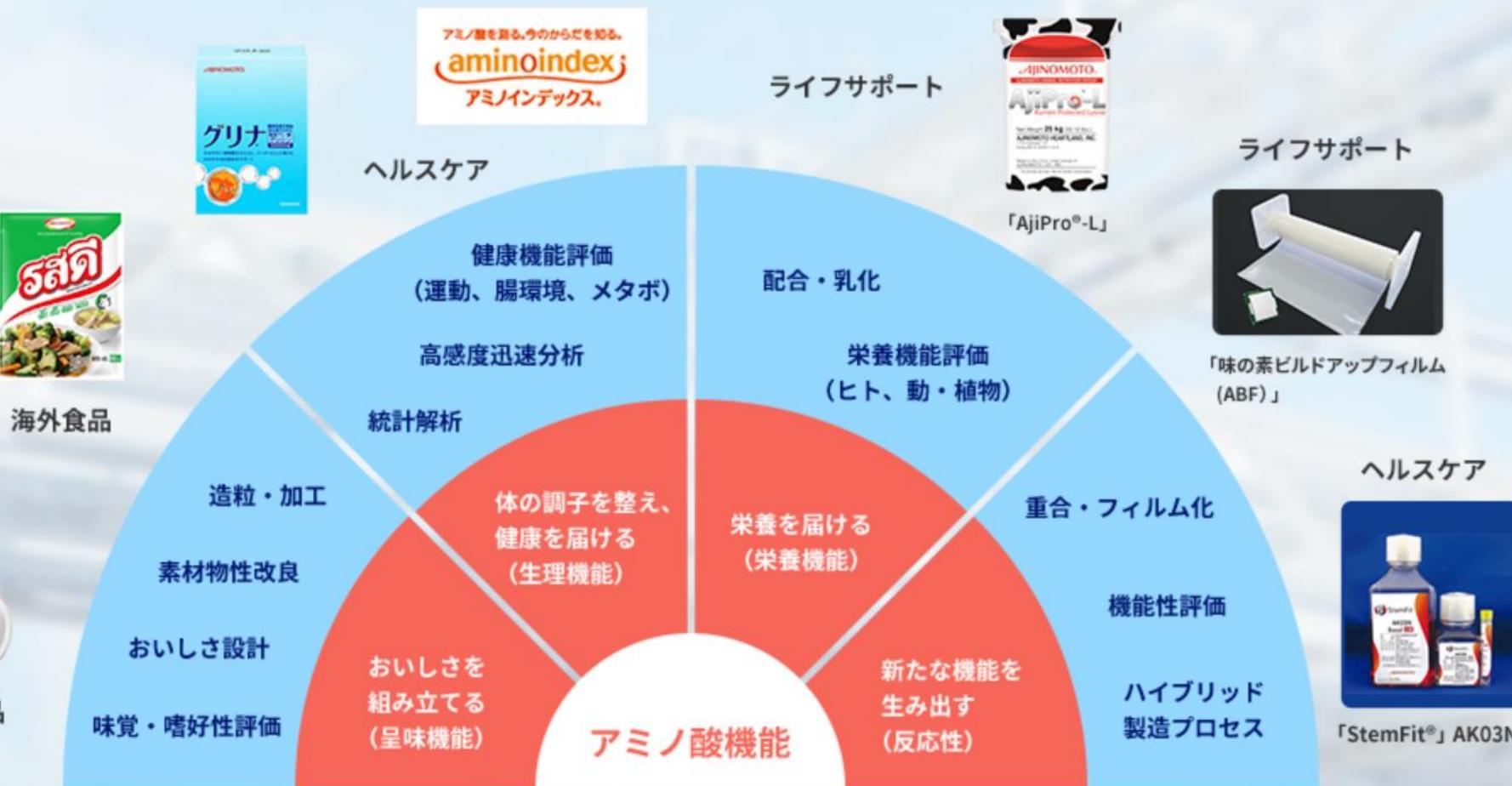
Prof. Dr. Kikunae Ikeda

# ASV: Ajinomoto group Shared Value

## ■ ASVの進化 共通価値の拡大



# 世界NO. 1 アミノ酸メーカーの姿



## プラットフォーム技術

分析

品質保証

微生物・酵素探索

微生物育種  
(分子育種)

単離・精製

化学合成

発酵生産  
(スケールアップ)

# 味の素グループの概要

## 事業規模 (2017年3月31日現在)

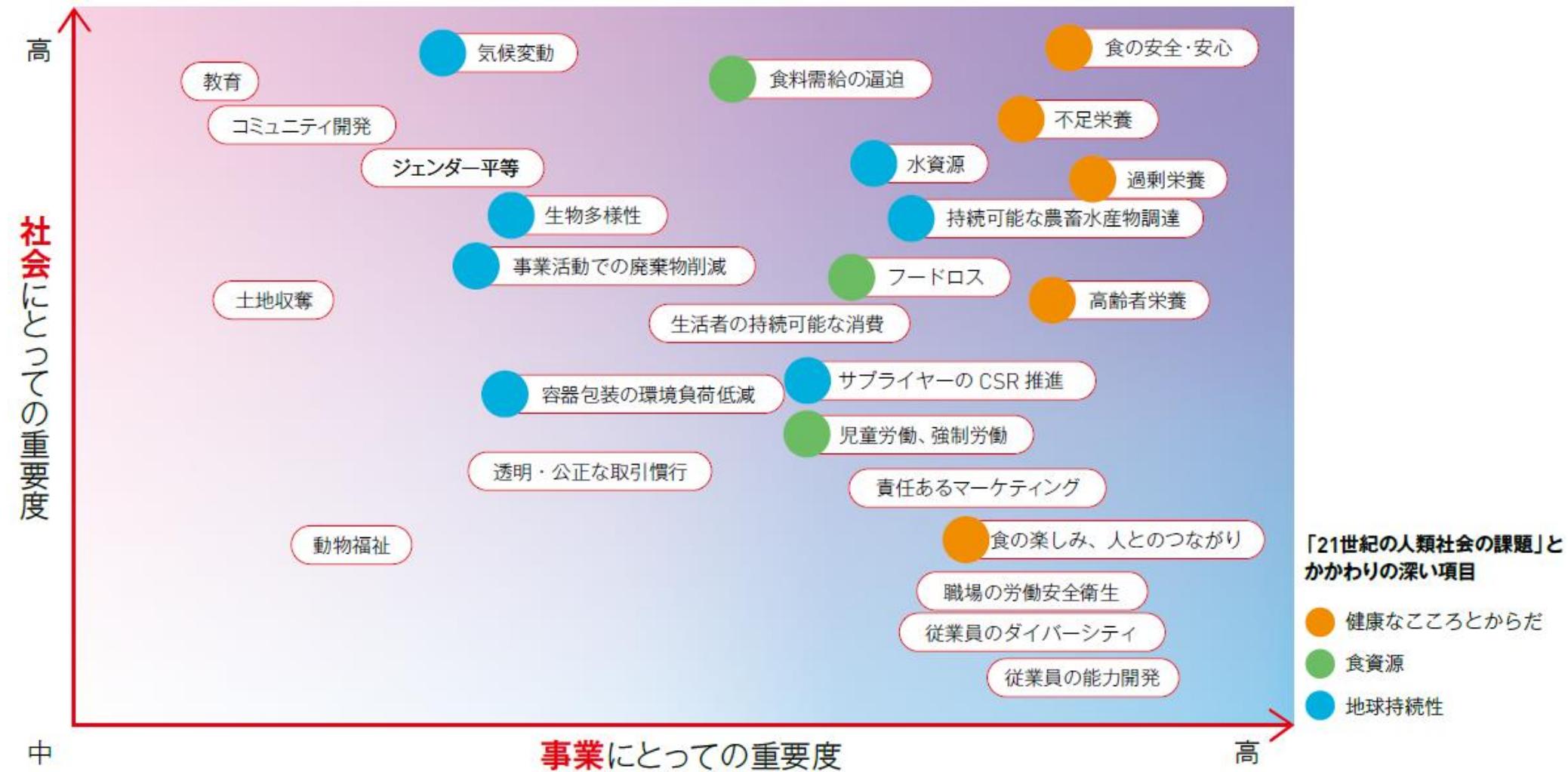


各地の食文化に根ざした風味調味料。

世界各地の  
食文化をベースに  
グローバル展開。



# 味の素グループが抽出したマテリアリティ項目マッピング



# 味の素グループが考える解決すべき3つの社会の課題



地球持続性



食資源



健康なこころとからだ

「**Eat Well, Live Well.**」

ひと、生き物、地球の**Sustainability**

# 味の素グループの環境中長期目標

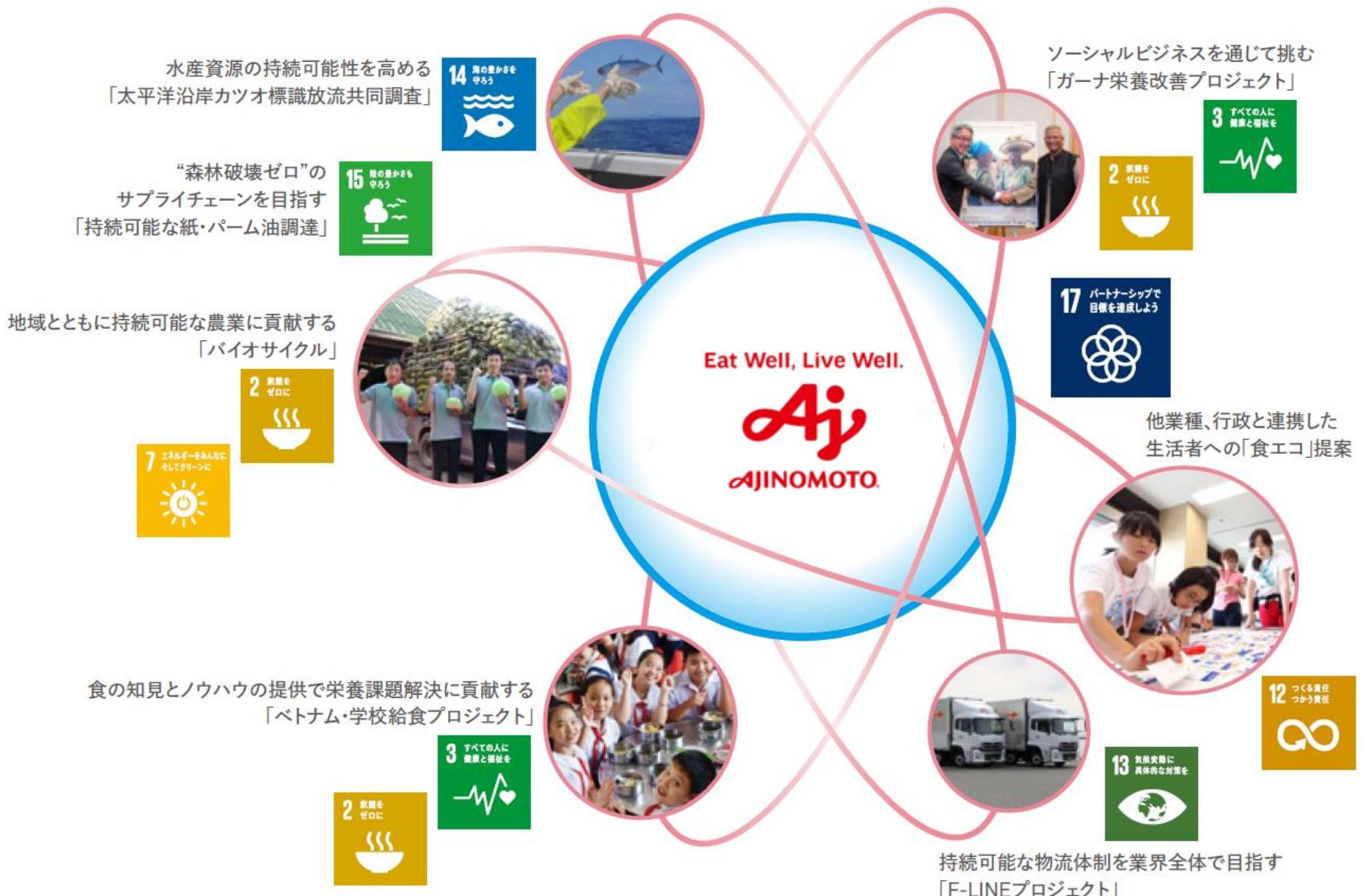
①

## 温室効果ガスの削減

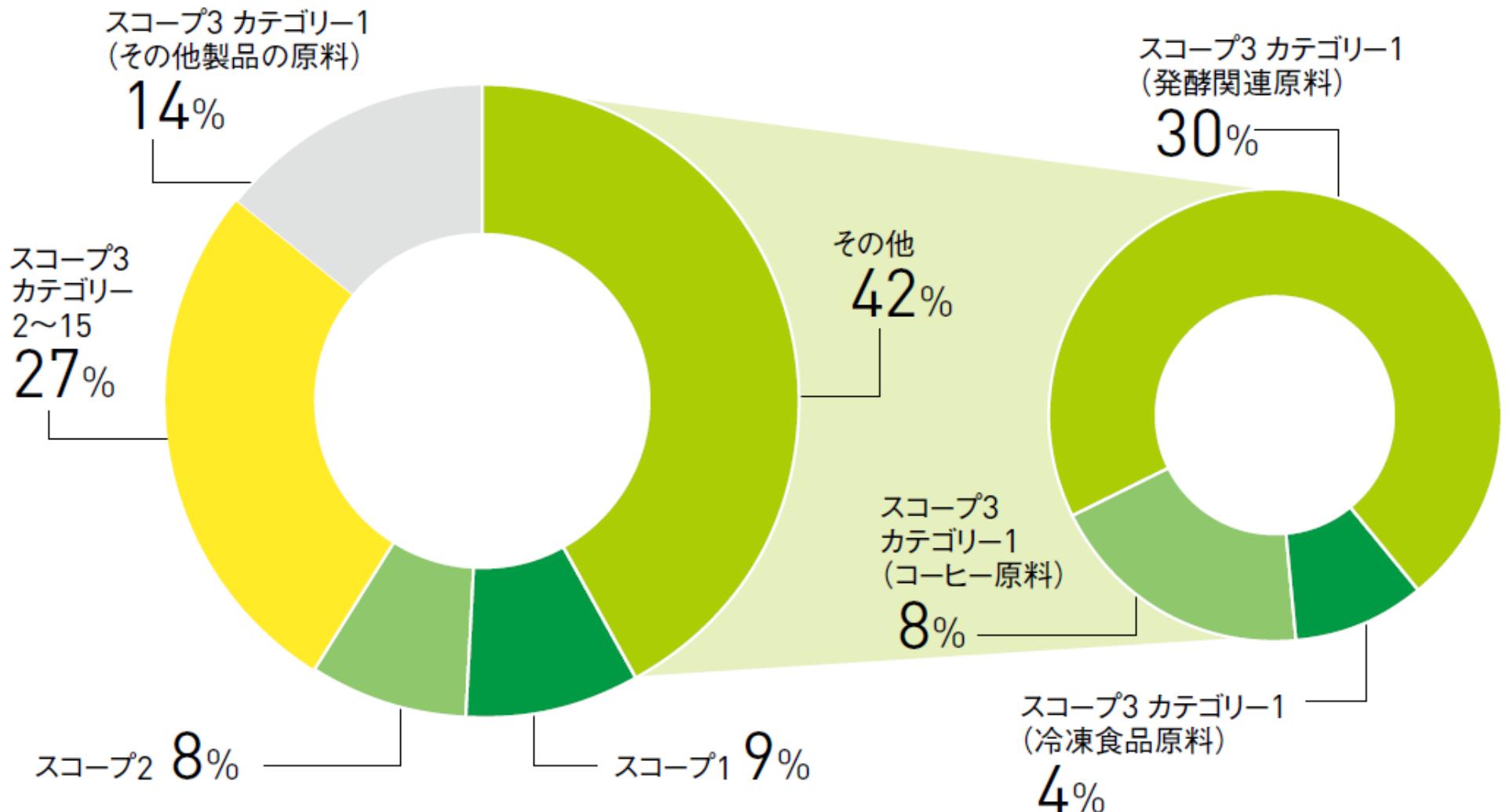
長期ビジョン	指標	経済価値		国際的な目標
		(コスト削減効果、FY16⇒FY19)		
① 温室効果ガスの削減	<p>製品ライフサイクル全体でカーボンニュートラルにします</p> <p>温室効果ガスの生産量比排出原単位 FY20: 5%削減(対FY15) FY30: 50%削減(対FY05)</p> <p>再生可能エネルギー比率 FY20: 20% FY30: 50%</p> <p>脱フロン FY25: 新規導入100% FY30:HFCs<sup>1)</sup>保有量極少</p>	使用エネルギー減、再生可能エネルギー増によるコスト削減 ▲55億円	ESG投資拡大による時価総額の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDG: 7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに;</li> <li>13.気候変動に具体的な対策を</li> <li>・<b>パリ協定</b>: 今世紀後半までに気温上昇2℃未満; 今世紀後半には温室効果ガスの人為的排出量と吸収源による除去量をバランスさせる(2050年までにGHG40~70%削減)</li> <li>・CGF<sup>2)</sup>: 2015年からフロン冷媒を削減</li> <li>・モントリオール議定書<sup>3)</sup>、POPs条約<sup>4)</sup></li> </ul>
② フードロスの削減	2050年までにライフサイクルでフードロスを半減します	原料受入からお客様納品までのフードロス削減 FY20: 20%削減(対FY15) FY25: 50%削減(対FY15)	原料・製品等の食品廃棄によるコスト削減 ▲6億円	製品購入意向の向上による商品売上の拡大
③ 食資源の確保と生態系・生物多様性を含む自然環境の保全	次世代のための食資源の確保と生態系・生物多様性を含む自然環境の保全に貢献し持続可能な調達を実現します	<p>持続可能な調達 FY20: ハーム・紙100% FY30: 課題原料100%</p> <p>低資源利用発酵技術・副生物活用・原料代替技術による天然原料使用量削減 FY25: 100%導入</p>	低資源利用発酵・収率向上、販促物削減他 ▲35億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDG: 14. 海の豊かさを守ろう; 15. 陸の豊かさも守ろう</li> <li>・CGF<sup>2)</sup>: 2020年までに森林破壊ネットゼロ</li> <li>・RSPO<sup>5)</sup>、FSC<sup>6)</sup>、ASC<sup>7)</sup></li> </ul>
④ 水資源の保全	持続的に水を利用し続けられる環境を創出します	工場の生産量比水使用量 FY20: 5%削減(対FY15) FY30: 80%削減(対FY05)	水使用量減によるコスト削減 ▲2億円	・SDG: 6. 安全な水とトイレを世界中に
⑤ 廃棄物の3R (Reduce, Reuse, Recycle)	廃棄物のゼロエミッション	事業活動で排出される廃棄物削減・資源化率 FY20, FY25: 99%以上維持	廃棄物の資源化・包材軽量化等によるコスト削減 ▲2億円	・SDG: 12. つくる責任、つかう責任



# 社会課題をパートナーシップで解決する味の素グループ



# 味の素グループのスコープ1・2・3の現況



**環境長期目標の達成に向け、サプライヤーとの連携強化が重要**

Eat Well, Live Well.



Thank you.